

# 絆

K I Z U N A

2021 JANUARY

JAグループ青森 月刊広報誌 [889号]

1





JA共済でよかった。  
自然の厳しさの中で、  
助け合う心は生まれるのだろう。  
自分は  
共済金を受け取ったことがないけれど、  
自分の掛金が、  
困っている誰かの役に立つなら、  
それはそれで、うれしいと思う。

# 絆が、備えになる。

一人では立ち向かえない困難も、仲間の助けがあればきっと乗り越えられる。

みんなの安心を守るのは、みんなで備えた共済金です。

農業と地域の暮らしに、絆の力を。

JA共済は、助け合って備える保障です。



## 絆 <sup>1</sup> 目次 KIZUNA CONTENTS

|                     |   |                  |    |
|---------------------|---|------------------|----|
| 年頭あいさつ              | 1 | 【特別企画】2020年を振り返る | 14 |
| JAグループ青森 JA組合長・常勤役員 |   | 東北農政局通信あおり       | 18 |
| および中央会・連合会代表者等紹介    | 2 | 組織農政通信           | 19 |
| フラッシュ               | 6 | 輝き               | 20 |
| インフォメーション           | 8 |                  |    |



J A グループ青森四連

会 長

阿 保 直 延

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、組合員をはじめJ A 役職員の皆様には、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、「新型コロナウイルス」という世界中を震撼させた感染症が拡大し、今もなお、衰えることなく猛威を振るっている状況にあります。この、コロナ禍による外出やイベントの自粛、外食店の休業等により、県内においても多くの業種が影響を受けており、我々J A グループの事業展開や活動も悩まされた一年でありました。今後、当面は「with コロナ」として、コロナありきの生活様式を念頭に、事業運営や経営に取り組む必要があると考えます。

昨年を振り返ってみますと、国政においては、連続在位日数歴代最長の安倍政権から、菅政権へ移行となりました。安倍政権時代は、米の生産調整見直し等農業・農協改革や大型貿易協定の締結による相次ぐ市場開放等を主導しましたが、生産現場の意向を踏まえない対応も多く、農政のあり方においては課題があると言わざるを得ません。新たな政権は、前政権路線の継承を掲げていることから、農業・J A 界にとっては、引続き予断を許さない状況が想定されます。昨年の貿易協定による市場開放の動向をみましても、「日米物品貿易協定（T A G）」はアメリカ大統領選もあり、再協議規定による交渉等大きな進展はみられませんでした。また、「英国との経済連携協定（E P A）」や「地域的な包括的経済連携（R C E P）」の合意がされています。特に、R C E Pでは米や牛肉・豚肉等の重要5

品目が関税削減・撤廃の対象から除外されていますが、中国・韓国とは初の貿易協定であり、新たな市場開放先となることから、県産野菜への影響を注視していかなければなりません。

また、コロナ禍の教訓として、昨年3月に閣議決定しました「新たな食料・農業・農村基本計画」の着実な実行による食料安全保障の確立と食料自給率の向上に向けた取組みの加速化が望まれます。国産農畜産物の安定供給を確保し、持続可能で豊かな食生活を守ることにも繋がりますが、そのためには、生産基盤強化が求められます。特に、我が国の主食である「米」について、2020年産米の過剰作付けやコロナ禍等での消費減少により需給緩和の状況にありますが、過度な生産調整は生産基盤の弱体化と食料供給の不安定化を招く恐れがあります。米の需給改善対策等については、行政も含めた生産者・消費者、集荷業者等関係者が一体で取り組むことが強く求められます。

さらに、規制改革に関する農協改革の動向につきましても、今年3月、改正農協法に定める「5年後検討条項」の期限を迎えます。我々J A グループは、自ら改革をすすめ、自主・自立の協同組合としてJ A 自己改革に取り組んでまいりましたが、准組合員の事業利用規制のあり方については、引続き「組合員の判断」に基づく対応を求めてまいります。

本年は、令和6年3月を見据えた「第29回J A 青森県大会」を開催する年でもあります。前回大会の決議事項への取組状況や反省点、取りまく諸課題の認識の共有を踏まえ、3年後のJ A グループ青森の姿が農家・組合員から評価が得られる大会を目指したいと考えております。

むすびに、令和3年は新型コロナウイルスが収束し、組合員をはじめJ A 役職員の皆様が、健やかに笑顔あふれる一年であることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



謹賀新年

# J A 組合長・常勤役員および 中央会・連合会代表者等紹介

輝かしき新春を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします

J A グループ青森

## 青森地区

### 青 森



ゆき た とおる  
雪 田 徹  
代表理事組合長



むな かた しげ み  
棟 方 重 美  
代表理事専務  
(総務担当)



た なか まさ てる  
田 中 正 輝  
代表理事常務  
(信用担当)



なり た ゆき のぶ  
成 田 幸 信  
代表理事常務  
(経済担当)

### 青 森



く どう しん いち  
工 藤 信 一  
常勤監事

## 五所川原地区

### つがるにしきた



いすみ や とし ゆき  
泉 谷 利 幸  
代表理事組合長



しぶ たに かつ し  
澁 谷 勝 志  
代表理事専務



やま なか みつ はる  
山 中 満 春  
代表理事常務  
(信用担当)

### つがるにしきた

### ごしょつがる



やま や こう し  
山 谷 綱 次  
代表理事常務



き むら まさ ひろ  
木 村 正 祥  
常勤監事



さい どう かつ のり  
斉 藤 勝 徳  
代表理事組合長



たか はし かず ひこ  
高 橋 一 彦  
代表理事専務  
(総務・経済事業担当)



お だ ぎり ひで とし  
小田桐 秀 壽  
常務理事  
(経済事業担当)

ごしょつがる



たか はし かつ え  
高 橋 克 枝  
常務理事  
(信用事業担当)



み うら かつ ひろ  
三 浦 勝 裕  
常勤監事

●  
弘前地区

つがる弘前



く どう ふみ あき  
工 藤 文 明  
代表理事組合長



くま がい じゅ いち  
熊 谷 壽 一  
代表理事専務

つがる弘前



お やま さとる  
小 山 悟  
代表理事常務



さい どう かつ のり  
齊 藤 勝 則  
代表理事常務



まる おか よし あき  
丸 岡 義 昭  
信用担当常務



せい の ひろ ゆき  
清 野 博 之  
常勤監事



おお ば つとむ  
大 場 勉  
代表理事組合長

相馬村



み かみ りゅう き  
三 上 隆 基  
専務理事



はな だ とし ゆき  
花 田 敏 幸  
理事金融共済部長



やま うち さとし  
山 内 敏  
代表理事組合長



なり た きよ ゆき  
成 田 清 行  
代表理事専務  
(総務管理担当)



むら かみ かつ のり  
村 上 勝 憲  
代表理事常務  
(販売担当)

津軽みらい



さ どう よし かつ  
佐 藤 佳 克  
代表理事常務  
(営農購買担当)



た なか きゅう めい  
田 中 究 明  
代表理事常務  
(信用担当専任)



かね ひら しゅん いち  
兼 平 俊 一  
常勤監事



いし ざわ せい こう  
石 澤 清 行  
代表理事組合長



さ どう ひろ あき  
佐 藤 大 朗  
代表理事専務

津軽みらい

常盤村養鶏

# 十和田地区

## 十和田おいらせ



はたけ やま かず お  
畠 山 一 男  
代表理事組合長



と さわ やす ひろ  
斗 澤 康 広  
代表理事専務



こ むかい ゆたか  
小 向 豊  
営農経済担当常務



たか や くにお  
高 谷 邦  
信用事業担当専任常務

## 十和田おいらせ



くり やま じゅん いち  
栗 山 純 一  
常勤監事



おと べ てる お  
乙 部 輝 雄  
代表理事組合長



てん ま かず ひろ  
天 間 一 博  
代表理事専務  
(営農経済担当兼務)



むら やま じゅん いち  
村 山 淳 一  
代表理事常務  
(金融共済担当)



の だ がしら かず よし  
野田頭 和 義  
代表理事常務  
(酪農畜産担当)

## ゆうき青森

## ゆうき青森



み かま まさ ひろ  
三 上 雅 浩  
常勤監事



おき さわ しげ や  
沖 澤 繁 弥  
代表理事組合長



なか やしき かず お  
中屋敷 一 夫  
代表理事専務



ば ば ひで かず  
馬 場 英 和  
常務理事



すみ いし じろう  
角 石二郎  
常勤監事

## おいらせ

# 八戸地区

## 八戸



やま み よし まさ  
山 美 喜 正  
代表理事組合長



みず こし ぜん いち  
水 越 善 一  
代表理事専務



ば ば たかし  
馬 場 隆  
代表理事常務  
(営農・経済担当)



お ばら よし ひろ  
小 原 良 洋  
代表理事常務  
(金融・共済担当)

## 八 戸



むかい やま けん えつ  
向 山 健 悦  
常勤監事

## 中央会・連合会

## 中央会・JAグループ青森三連



あ ぼ なお のぶ  
阿 保 直 延  
会長



お やま ち か ら  
小 山 主 税  
常務理事



## 農林中央金庫青森支店



いかり まさ かず  
錠 理 一  
支店長



ひら やま もと ゆき  
平 山 基 之  
副支店長



すず き まなぶ  
鈴 木 学  
副支店長

## 全農あおもり



くわ た のり ふみ  
桑 田 徳 文  
県本部長



とう ま のり かず  
藤 間 則 和  
副本部長



ささ もり とし みつ  
笹 森 俊 充  
副本部長



ふく し まさ み  
福 士 雅 巳  
本部長



ぬま た ひろ ふみ  
沼 田 博 文  
副本部長

## 共済連青森

## アオレン



く どう ふみ あき  
工 藤 文 明  
代表理事会長



お がさわら やす ひこ  
小笠原 康 彦  
代表理事専務



か さい みち ゆき  
葛 西 亨 之  
参事



まる やま ゆういちろう  
円 山 雄一朗  
取締役センター長



かま た まさ ゆき  
鎌 田 政 行  
副センター長

## (株)青森県農協電算センター

# フラッシュ



JA 青森

## 人気沸騰 話題の菊芋販売 (12/14)

JA 青森直売所で販売されている菊芋が、人気を博している。管内では漬物の材料として戦後以来定番の野菜だが、菊芋のもつ成分で健康に良い効果が期待されるとして近年の健康ブームで再び注目を浴びている。

10年ほど前に就農した菊地ともえさんは、5年前から直売所に出荷しており、お勧めの食べ方を写真入りで売り場に掲示し「クセもなく油との相性がいいので、揚げてホクホクにしたり炒めてシャキシャキにしたり、漬物以外の色んな食べ方も楽しんでほしい」と話す。



JA ぐしよつがる

## ねぎ栽培講習会 (12/7)

ねぎ部会はJA ぐしよつがる木造総合支店で栽培講習会を開催し、30人の生産者が参加した。講習会では外部講師を招き、主に病害虫や天候不順によるねぎの各症状について学んだ。各産地で見られた病害虫の症状を写真で確認しつつ、必要な対策や予防法を確認した。

## 青年部集荷受付サービス／

### 地域の力になることが出来て嬉しい (11/27)

JA 相馬村青年部では11月20日から12月7日までの月・水・金曜日の8日間、JA 相馬村ライスセンターで集荷受付サービスを行った。この事業は初の取組で、日にちと時間に加え、集荷場所も限定することで配送コストを抑えることが出来ることが特徴。利用した組合員は「贈答用りんごが多い為、前から運賃には頭を抱えていた。このサービスを行ってくれて大変助かる」と喜んでた。



JA つがるにしきた

## 色つき順調 葉ボタン (11/25)

JA つがるにしきたは、つがる市稲垣町の渋谷宗弘さんのハウスで、葉ボタン現地講習会を開き、生産者12人が参加した。

今年は例年よりも気温が低いため色づきは早く始まったものの、出荷時期には丁度良い花色になると見込まれる。

出荷時期は12月7日～25日までで、県内および関東に出荷される。



JA つがる弘前

## 今年もおいしいリンゴができました！

### 青年部りんご即売会 (11/28・29)

JA つがる弘前青年部船沢支部と千年第一支部は、同JA 農産物直売所かあさんの店前駐車場で、リンゴ即売会を開き贈答用リンゴを買い求め両日とも多くの客が訪れた。

買物客は「コロナの影響で開催しているか不安だったが、今年も親戚に贈ることができて良かった」と話した。青年部の担当者は「新型コロナウイルスの感染予防対策をとりながら開催することができ、多くのお客さんに喜んでもらえたのでは」と話した。



JA 相馬村

## ＪＡ津軽みらい



### 古代米で正月飾り作り (12/10)

ＪＡ津軽みらいは、本店で12月の女性営農生活講座を開き、受講者30人が古代米の稲穂を使った正月飾りを作った。

講師を務めた田舎館村の「田園」未来を築く会が、正月飾りの作り方や使用する「清水もち」「亀ノ尾」「アハガラシマイ」など数種類の古代米稲穂について説明。受講者は「オリジナルの正月飾りが作れて楽しかった。飾る前にまたアレンジを加えてさらに楽しみたい」と話した。

## ＪＡゆうき青森



### 地元特産野菜で食農育活動 (12/3・4)

ＪＡゆうき青森女性部は、天間林小学校3学年児童と七戸町の特産野菜であるアピオスを使った料理教室を開催。児童らが5月に植付し、11月に収穫したアピオスをすいとんにした洋風スープ「アピストローネ」作りに挑戦し、丸や星など思い思いの形のアピオスすいとんを完成させた。試食会で児童らは「すいとんがもちもちしていておいしい」「植付からこの日を楽しみにしていたのでうれしい」と話した。

## ＪＡ八戸



### 女性部倉石地区 小学生とコンニャク作り (12/11)

ＪＡ八戸女性部倉石地区は、五戸町立倉石小学校で4年生19人とコンニャクを作った。6月に定植し、11月に収穫したコンニャク芋を使用。部員は「加熱前のコンニャクは触ると痒くなりやすいため、しっかり手袋をしてね」と児童へ促した。出来上がったコンニャクは給食の時間に試食。特製の味噌をかけ、コンニャクを食べると「プルプルンでおいしい」と声が上がった。

## ＪＡ十和田おいらせ



### スイーツで市の魅力発信

#### 高校生が来冬一般ツアー開催へ (12/11)

ＪＡ十和田おいらせのファーマーズマーケット「かだあ〜れ」で、青森県立十和田西高等学校観光科2年生が市の職員や先生を客に見立て、十和田市のおススメスイーツを紹介するモニターツアーを行った。企画の立案から実施まですべて生徒が行い、来年冬の一般ツアーにつなげる。モニターツアーを終えた川村南央斗さんは「お客様を目の前にすると緊張する。課題を改善し、来年は最大限に市の魅力をアピールできるよう頑張りたい」と意気込む。

## ＪＡおいらせ



### 不祥事事例から学ぶコンプライアンス研修 (12/3)

ＪＡおいらせは、コンプライアンス研修をＪＡ本店で開き、ＪＡ職員と子会社(株)ゆめグリーン社員の180人が参加した。事例を通じ、不祥事への未然防止の徹底を呼びかけた。

講師を務めたＪＡ青森中央会経営対策部の成田真一さんは、信用担当だけでなく全職員が金融機関の職員という認識を持つこと、また子会社社員はＪＡグループの一員であることを認識し、組織として不祥事の未然防止を訴えた。

## 法人税・税効果会計基礎研修会

JA青森中央会は12月2、3の両日、青森市の県農協会館で、法人税の仕組みや申告実務にかかる法人税基礎知識の習得と税効果会計実務の向上を目的に、「法人税・税効果会計基礎研修会」を開いた。

嶋谷税務会計事務所の嶋谷留美所長を講師に、県内7JAから法人税申告実務と税効果会計業務を担当する職員11人が参加した。

嶋谷所長は「研修を通じ法人税申告の基本概念を理解するとともに、JAでの申告業務および決算書類の作成に役立ててもらいたい」と話した。

## 青森県農協青年部協議会が地元議員に国会議員要請

青森県農協青年部協議会の浪岡篤志委員長と役員3人は12月11、12の両日、青森県農畜産物および労働力に係る要請を、青森県選出の国会議員6人に行った。

今般の農業を巡る世界情勢や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人・JAで対応しきれない問題と青森県が抱える「労働力確保対策」「水田対策」の課題を訴えた。

要請は、①生産現場の意向を踏まえ、家族経営を含む中小規模農業者の経営継続を後押しするため、労働力確保対策を講じること②令和3年産米については、大幅な非主食用米への転換が必要になることから、産地交付金の増額等による手取り格差是正の対策を講じることなどの4項目。

要請に対して、大島理森衆院議長は「世界中でコロナの影響を受けており、今が耐えどころであ



▲大島理森議員（中）に要請書を手渡す浪岡委員長

る。農水省には、皆様のご意見を伝える」と述べた。

## 弘前大学、食支援に感謝の訪問

弘前大学は12月11日、青森市の県農協会館を訪れ、JA青森中央会の阿保直延会長に青森県産米「つがるロマン」とリンゴジュース「希望の雫」の学生への食支援に感謝を述べた。

JAグループ青森と青森県農協農政対策委員会が去る10月7日、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済的影響を受けた大学生・大学院生2,238人を対象に支援を実施した。

阿保会長と面会した弘前大学石川隆洋副学長は「全国でも学生に対し、4トン以上のお米を支援した団体は聞いたことがなく、学生・職員共に大変感謝している。この食支援は学生が青森県に恩返しするきっかけにも繋がるだろう」と述べた。

阿保会長は「新型コロナウイルスの一刻も早い収束を願うが、経済的に影響を受けている学生には、今後も支援を継続して参りたい」と話した。



▲阿保会長（左）に感謝状を贈呈する石川副学長

## 第39回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール表彰式

JA青森中央会は12月13日、青森市のホテル青森で第39回青森県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール表彰式を開いた。青森県知事賞に輝いた作文部門の小松和佳さん（青森市立古川中学校3年生）、図画部門の橘如花さん（八戸市立城下小学校5年生）ら入賞者5人と、学校奨励賞を受賞した4校に賞状を贈った。

同コンクールは小・中学生を対象に米・ご飯食の重要性への理解を深めてもらうため、毎年実施している。

2020年度は作文248点、図画139点の応募があり、作文・図画部門から三賞（青森県知事賞、青森県教育委員会教育長賞、青森県農協中央会会長賞）の入賞者各1人ずつと、優秀賞計38人を選んだ。

作文部門で県知事賞を受賞した小松さんは「ごはんを作ってくれる人やお米を作る大切さを考えることができたので、いい経験となった」、図画部門で同じく県知事賞を受賞した橘さんは「夏休みを使って、お米を一粒ずつ丁寧に一生懸命描いた絵が受賞につながり嬉しい」と受賞を喜んだ。



▲青森県知事賞を受け取る橘さん(中)、小松さん(右)

### 青森県の21年産米生産数量目標4.3%減

青森県農業再生協議会は12月14日、2021年産主食用米の生産数量目標を20年産米生産数量目標より9,895ト(4.3%)少ない22万1,334トに決めた。

国が示した「基本指針」も踏まえ、県全体の生産数量目標を設定した。

青森県は「生産調整をしながら、産地交付金を活用し、飼料用米や高収益作物の導入を目指したい」と述べた。

### HACCPで衛生管理の徹底を 来年の改正に向けた説明会を実施

J A 青森中央会は12月16日、青森市の県農協会館で青森県内のJ A職員を対象とした「令和2年度HACCP(危害分析重要管理)担当者説明会」を開き、30人が参加した。

青森県健康福祉部保健衛生課食品衛生グループの西村秀太郎主幹を講師として招き、HACCPの基礎知識と食品衛生法の改正による制度化の現状について説明をし、グループ演習を通じて、衛生管理計画書の作成などを行った。

2021年6月から、食品衛生法の改正に伴い食品の製造・加工、調理、販売などを行う食品事業者に対してHACCPに沿った衛生管理の制度化に向けた説明会を開いた。

西村主幹は、従来行っている食品の一般衛生管理方法から、HACCPに沿った衛生管理に移行することについて、①衛生管理計画を作成する②作成した計画に従って衛生管理を実施する③実施した結果を記録・確認することなど衛生管理の取組みについて「見える化」に努めて欲しいと呼びかけた。



▲参加者からのHACCPに関する質問に答える西村主幹(右)

### 行事(1/10~2/10)

#### 1月

- 14~15日 第2回管理者研修会(教育研修所)
- 20日 定例理事会(県農協会館)
- 20日 新採用職員フォロー研修会(県農協会館)
- 22日 営農指導員認証試験(教育研修所)
- 27日 地区別J A組合長・会長等会議、自己改革実践トップフォーラム(県農協会館)

#### 2月

- 3日 女性リーダー育成研修会(県農協会館)
- 4日 第2回内部監査士検定試験(教育研修所)
- 8日 県女性協理事会(県農協会館)
- 9~10日 第2回初級職員研修会(教育研修所)
- 10日 県参協定例会(アップルパレス青森)

## 今年もやります！ お買い物や車の給油におトクなJAカード

JAカードでは、JA系統独自サービスとして、JA-SS、ホクレンSSとJAが経営する全国の直売所、ファーマーズマーケットのJAカードご利用割引特典を今年も継続する。



割引対象となる直売所は年々増えており、現在、県内の店舗は次の10店舗。全国の対象店舗は、JAグループ「くらし」のサイトで検索できる。

離れて暮らすご家族やご友人、知人にもJAカードのお得な情報を。

URL <https://life.ja-group.jp/>

| JA      | 住所    | 直売所             |
|---------|-------|-----------------|
| 青森      | 青森市   | フルーツショップ浪岡      |
| つがる弘前   | 弘前市   | 四季彩館            |
| 相馬村     | 弘前市   | 特産物直売所「林檎の森」    |
| 津軽みらい   | 弘前市   | サンフェスタいしかわ      |
|         | 黒石市   | あっぱるはうす かあさんの店  |
|         | 平川市   | 産直センターひらか アグリアス |
|         | 平川市   | 尾上特産物直売所        |
| ごしょつがる  | 五所川原市 | まるっと新鮮館         |
| 十和田おいらせ | 十和田市  | かだあ〜れ           |
| 八戸      | 八戸市   | JAアグリマーケット 八菜館  |

## 「JAカードわいわいプレゼント2020」 でお好きな商品とポイント交換を！

JAカードのご利用ポイントの有効期限は、ポイントが付与された年度を含む2年度で、2019年度（2019年3月1日～2020年2月28日）に付与されたポイントは、2021年2月28日に有効期限が到来する。

獲得ポイントは、「ご利用代金請求書」またはWeb会員サービス「Net Branch」で確認できる。

ポイント交換は、「JAカードわいわいプレゼント2020」（商品交換期間：2021年2月28日まで）の3つの中から好きなコースを選べる。

2019年度のポイントをお持ちの方は、ポイント交換を忘れずに。

### その① カatalog商品と交換

- ◇ 話題の商品から日用品まで、200ポイントから好きな商品と交換できます。
- ◇ 詳しくは、「ポイント交換商品カタログ」をご確認ください。



### その② いつも貯めているポイントと交換

- ◇ 100ポイント単位で交換可能です。
- ◇ WEBからの応募のみとなります。



### その③ キャッシュバック



- ◇ 1ポイントを4円換算で請求金額から差引きます。
- ◇ 500ポイント以上100ポイント単位で応募可能です。
- ◇ WEBからの応募のみとなります。

## 行事（1/10～2/10）

### 農林中央金庫

#### 1月

- 14日 信用事業業務検定試験対策研修「年金アドバイザー」(県農協会館)
- 15日 JAバンク青森運営協議会専門委員会 (県農協会館)
- 15日 信用事業業務検定試験対策研修「ローン推進」(県農協会館)
- 24日 F P・金融技能検定試験 (各会場)
- 26日 第二種証券外務員・内部管理責任者資格試験 (県農協会館)

#### 2月

- 4～5日 JAバンク青森アカデミー第5期「管理職コース」第3部 (場所未定)
- 6日 信用事業業務検定試験 (県農協会館)
- 9日 青森県JA信用担当部課長会議 (県農協会館)

### 農協電算センター

#### 1月

- 20日 定時取締役会 (県農協会館)

## やさい防除試験展示ほ総合検討会

JA全農あおもりは11月30日、青森市の県農協会館でやさい防除試験展示ほ総合検討会を開き、JA担当者ら22名が出席。試験展示ほにおける病害虫発生状況や農薬散布状況について情報共有するとともに、次年度の防除暦について協議した。

本検討は、令和2年度からの新たな取り組み。防除指導体制の強化を図ることで、主要やさいの高品質・安定生産を目指すことを目的としている。

今年度は、ながいも・ねぎ・トマトの3品目について、県内のJA管内に試験ほ場を設置した。品目毎で実施した新剤については各薬剤とも防除効果が高かったことから防除暦へ採用となった。

また、出席したJA担当者からは「複雑なものでなく、生産者が活用しやすい防除暦にして欲しい」という意見があり、試験結果と併せて、次年度の防除暦に反映することとしている。

全農あおもり生産振興部の沼田友行次長は「試



▲防除効果等について協議する出席者

験を積み重ね、更なる防除指導体制の強化を図っていきたい」と協力を求めた。

次年度は、ごぼう・にんにくの2品目を追加し、防除暦作成に繋げることとしている。

## 市内焼肉店で「あおもり和牛」の特別限定メニューを展開

青森市の焼肉店、ふくしま精肉店では12月1日から、特別限定メニュー「あおもり和牛スペシャル3点盛り」を展開。

この取り組みは、あおもり牛販売促進協議会が、(公財)むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて実施。ふくしま精肉店に、合計130キロのあおもり和牛を提供した。

サーロインまたはリブローズ、極上カルビ、中落ちカルビの3点盛りを、通常価格の約4割安で提供した。

この取り組みは、「あおもり和牛」の知名度アップと県産牛肉の消費拡大に繋げようと始めたものの。



▲期間限定メニューのちらし

## 行事(1/10~2/10)

1月

20日

運営委員会(県農協会館)

「牛乳ごっくんキャンペーン」第4弾を開催中！



青森県産牛乳消費拡大キャンペーン



# 牛乳



# ごっくん キャンペーン

青森県産品を応援しよう！

抽選で合計**400**名様に当たる！

**Wチャンス賞**  
はずれた方の中から  
抽選で  
**50名**様に  
豪華オリジナルグッズを  
プレゼント！



今年度最後のキャンペーンにつき、当選者数アップ！

**A賞** 津軽びどろ ぬふた小鉢5客



70g

**B賞** 海峽サーモン水巻缶詰6缶



80g

**C賞** 飲むヨーグルト詰合せセット



(900ml×3本)

100g

**D賞** 萩原製品詰合せセット



(ヨーグルト 2個・コーヒーゼリー 2個×4)

100g

応募方法

青森県産牛乳1,000ml入パックについている、県産牛乳の三角マークを切り取り、10枚を1口(封筒1通につき1口とし、何通でも可)として、必要事項(郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・ご希望賞品・アンケート)をご記入の上、ご応募ください。※ご記入いただいたお客様の個人情報は、賞品発送・お問合せのみに使用いたします。(法令による開示を除く。)お客様の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。なお、キャンペーン終了後に責任をもって破棄・消去いたします。

応募締切

**2021年1月31日** ※当日消印有効

厳正な抽選のうえ、賞品の発送をもってかえさせていただきます。  
※賞品の発送は、2月下旬以降を予定。

応募先

〒030-0847 青森市東大野2-1-15  
青森県牛乳普及協会「牛乳ごっくんキャンペーン係」  
【お問合せ】TEL 017-729-8631 青森県牛乳普及協会(JA全農あおもり内)



JA全農あおもり/青森県牛乳普及協会

## 令和3年1月実施の自動車共済仕組改訂・事務改善事項研修会の開催

JA共済連青森は11月26日、青森県農協会館（青森市）において、令和3年1月実施の自動車共済仕組改訂・事務改善事項研修会を開催し、各JAから19人が出席した。

同研修会は、10月に開催された同内容の研修会に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、出席できなかった参加者を対象に開催した。

令和3年1月実施の自動車共済仕組改訂等の内容や、令和3年1月実施の農業用貨物自動車割引の電算精査変更について、自動車共済・自賠責共済における引受審査業務の方向性について等の説明があり、出席したJAの担当職員は熱心に取り組んでいた。



▲熱心に取り組む出席者

## 共済担当部課長会議の開催

JA共済連青森は12月1日、青森県農協会館（青森市）において、共済担当部課長会議を開催し、各JAから共済担当部課長総勢26人が出席した。

まず、沼田副本部長からの開会の挨拶に続き、



▲会議の様子

全共連全国本部東北・北海道地区担当の島津部長より全国普及推進状況等についての情勢報告が行われた。

会議では、①令和2年度目標達成に向けた取り組みについて、②令和3年度事業計画書（素案）について、③令和3年度業務計画書（原案）について、④令和3年4月実施予定の仕組改訂・共済掛金率の変更について、⑤JA・県本部間TV（Web）会議ネットワークの構築についての、説明および協議が行われ、出席者からの質疑応答を交えながら積極的な協議・検討が行われた。

## 共済事業担当常勤理事会議の開催

JA共済連青森は12月8日、青森県農協会館（青森市）において、共済事業担当常勤理事会議を開催し、各JAから共済担当常勤理事が出席した。

まず、福士本部長による開会の挨拶と、全共連近藤常務理事からの挨拶があった。

また、全共連全国本部東北・北海道地区担当の島津部長より全国普及推進状況等についての情勢報告が行われた。

会議では、12月1日に開催された共済担当部課長会議の議案に加え、JA本体代理店・県本部代理店の実績の報告と、令和2年度共栄火災商品の目標達成に向けた確認・共有が行われ、出席者からの質疑応答を交えながら積極的な協議・検討が行われた。



▲会議の様子

## 行事（1／10～2／10）

1月  
20日 運営委員会（県農協会館）

# 2020年を振り返る

## 青森県の農業・JA主要ニュース

2020年は、日本を含む世界全体がこれまで経験したことの無い、未知のウィルスでワクチンが存在していなかった新型コロナウイルス感染症の感染者の増加で、海外との行き来が長く制限されたことにより、経済の停滞や生活様式の見直しが必要となった年となった。

この新型コロナウイルス感染症の影響を受け、東京オリンピックが2021年に延期となり、また、今後の感染状況次第では、再延期や中止もありうる報道もされている。

そのような中、本県農業・JAを振り返ると、台風の被害は無かったが強風の影響で津軽地区において一部りんごの落下被害があったものの、概ね平年並みの数量を収穫でき農家組合員を、安堵させた。

農家の人手不足対策には、他業種職員による農業応援活動が盛んに行われ、外国人農業実習生に頼っていた農家も収穫時期に遅れることなく収穫できた。

また、JAグループ青森と青森県農協農政対策委員会では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済的な影響を受けた県内大学生・大学院生に「米とりんごジュース」を送るなどの食支援を実施し、青森県農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を果たした特別な年であった。

### ●令和2年開始へ県選出国會議員を訪問

(1/15) 写真①

JA青森中央会の阿保直延会長は、県選出国會議員を訪問し、令和2年の開始にあたり、本県産野菜の価格低迷対策や本県産りんごの輸出強化、農業労働力不足対策などへの早急な対応を要請した。

### ●書道・交通安全ポスターコンクール全国表彰式 (1/24)

JA共済連全国本部が主催する「令和元年度JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール」の全国表彰式が行われ、書道・半紙の部で「文部科学大臣賞」に選ばれた佐々木胡春さん（黒石市立黒石小学校・6年）が出席し、家族が見守る中、賞状と副賞が授与された。

### ●梅の親善使節が来会 (1/30)

青森県と相互交流している福岡県太宰府天満宮の「梅の親善使節」がJA全農あおもりを訪問。巫女の2人が全農あおもり運営委員会の阿保直延会長に紅白の梅の花2鉢を贈り、一足早い春の訪れを伝えた。

### ●食育の取組みをPR (2/15)

JA青森中央会は、青森市の東奥日報新町ビルで開催された県主催の「あおもり食育推進大会2020」に参加し、社会科副読本「あおもりの農林水産業」の配布や県産ごぼうとニ

ンジンを使ったクッキーの試食を行い、食育の取組みをPRした。

### ●令和元年産米の食味ランキング発表

(2/26) 写真②

一般財団法人日本穀物検定協会は、令和元年産米の食味ランキングを発表。青森県産米の2品種「青天の霹靂」「まっしぐら」が『特A』評価を取得。特に「まっしぐら」は、初の『特A』獲得となり、三村申吾青森県知事は「生産者の技術の高さが示せてうれしい」と話した。

### ●JA八戸南部支店を新築 オープニングセレモニー開催 (3/16) 写真③

JA八戸は、南部町相内に南部支店を移転新築オープンした。新支店は、同町にあったこれまでの南部支店と名川支店を統合。

山美喜正組合長は「支店再編により今後さらなる顧客満足度の向上を図り、組合員及び利用者の負託に応えられるよう一層の努力を重ねる」と挨拶した。

### ●県選出国會議員へ対策要請 (3/23) 写真④

JA青森中央会と青森県農協農政対策委員会は、津島淳衆議院議員に対し、野菜価格安定制度の堅持と、新型コロナウイルス感染症拡大の影響緩和対策の実施および収束に全力を挙げてもらうよう要請した。

また、次期「食料・農業・農村基本計画」の着実な推進を図ることや、准組合員の利用



3月

規制のあり方について「農協組合員の判断に基づくものとする」との自民党の参議院選挙公約を遵守するよう求めた。

### ●青森県JA女性組織協議会通常総会開催 (4/20)

青森県JA女性組織協議会は、県農協会館で新型コロナウイルス感染防止のため、参加人数を1JA3名までに制限して第66回通常総会を開き、令和2年の活動計画や予算案を承認した。

2年度は3カ年計画「JA女性 地域で輝け 50万パワー☆」の実践2年度目として、仲間づくりやJA運営への参画に積極的に取り組み、組織強化につなげる。

4月

### ●農協青年部協議会通常総会開催 (4/21)

青森県農協青年部協議会は、青森市で新型コロナウイルス感染防止のため規模を縮小し、書面決議での令和2年度通常総会を開いた。元年度の活動報告や2年度の収支予算、活動計画について承認、JAおいらせ青年部の浪岡篤志さんを委員長に再任した。

### ●JAバンク青森 2019年度県域表彰 (4/23)

JAバンク青森では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で「2020年度JAバンク青森推進大会」を中止したことを受けて、「2019年度県域表彰」の表彰式を、上位入賞を果た

4月

したJAで行った。

優績JA部門と優績店舗部門で最優秀賞に輝いたJA十和田おいらせには、錠理一青森支店長より賞状と目録が授与された。

5月

### ●メッセージ付きフラワーアレンジメント贈呈 県産花きの消費拡大へ (5/19) 写真⑤

JAグループ青森は、県産花きの消費拡大をはかるため、JAグループと取引のある観光業や飲食業、関係団体など112団体に対し「がんばろう」のメッセージを付けたフラワーアレンジメントを贈った。

贈呈を受けたアートホテル青森宿泊マネージャーの佐藤亜希子さんは「色鮮やかなお花でロビーが明るくなった。お客様にもぜひ笑顔になってほしい」と話した。

6月

### ●中央会通常総会開催 (6/29)

JA青森中央会は、青森市の県農協会館で第66回通常総会を開き、令和元年度事業報告や決算などを承認。元年9月に中央会から連合会に組織変更したことに伴い、役員改選が実施され、阿保直延会長と酒井一由副会長を再選した。

7月

### ●農業所得向上と新型コロナ早期終息を祈願 (7/7) 写真⑥

県農協農政対策委員会は、青森市の大星神社で2020年度の「農業所得向上・新型コロナ





7月

早期終息祈願」を行った。委員長を務める阿保直延 J A 青森中央会会長と常任委員ら18人が神殿に玉串をささげ、県内農産物の豊穰、農畜産物価格の上昇、農作業の安全と、新型コロナウイルスの早期終息を祈念した。

#### ●県知事・県議会議長へ要請（8／26）写真⑦

J A 青森中央会と青森県農協農政対策委員会は、青森県庁を訪問し、新型コロナウイルス感染症対策に関する要請を三村申吾県知事と森内之保留県議会議長に行った。

三村知事は「感染拡大の防止に配慮しつつ、県内経済の好循環を取り戻すことに注力し、今後も青森県の強みである農業分野における対策強化に向けて、要請内容を踏まえて、適宜適切に対応していきたい」と応じた。

8月

#### ●県選出国會議員へ要請（8／26）写真⑧

J A 青森中央会および青森県農協農政対策委員会の阿保直延会長は、J A 組合長ら17人と江渡聡徳衆議院議員をはじめ県選出国會議員5人に対し、新型コロナウイルス感染症対策等に関する要請を行った。

江渡議員は「農業者の所得向上が一番であると考えているが、生産の体制を整えていかないとかなり厳しい状況である。要請に対してしっかり汗を流させていただければと思います」と応じた。



8月

#### ●「やさいの日」J A フェア（8／30～31）

J A 全農あおもりは、県内のスーパーマーケット「カブセンター」「ベニーマート」など11店舗で、やさいの日に係わる販売イベント「『やさいの日』J A フェア」を開いた。店頭の販売員は「どのやさいも好調な売れ行きとなっている。中でもながいもが人気」と話していた。

9月

#### ●農林総合研究所・りんご研究所の「参観デー」にJ A バンク青森のPRブース出展（9／4～5）

農林中央金庫青森支店は、黒石市の農林総合研究所で開催された「参観デー」に、J A バンク青森の農業資金をPRするブースを初めて出展した。当ブースには400人を超える来場者が訪れ、農業資金に関するアンケートを記入し、条件によっては当初5年間の金利負担が0円になる農業近代化資金をはじめ、各種農業資金の説明に耳を傾けていた。

10月

#### ●J A グループ青森による学生への食支援（10／7、19、20）写真⑨

J A グループ青森と青森県農協農政対策委員会は、10月7日弘前大学、10月19日青森公立大学、10月20日青森県立保健大学で、お米・リンゴジュースの贈呈式を行い、新型コロナウイルスの影響で経済的な影響を受けた大学生・大学院生の申込者全員に、「つがるロマン」（2kg）と「希望の雫」（1000ml×2本）を贈った。





### ●復旧・復興を支援（10／8）写真10

J Aグループ青森四連は、J Aグループ福岡に7月豪雨および9月の台風10号等被害への見舞金100万円を贈った。J A青森中央会の阿保直延会長がJ A福岡中央会を訪れ、乗富幸雄会長に目録を手渡した。また、見舞金は、J Aグループ鹿児島、J Aグループ熊本などにも贈呈された。

### ●J Aつがるにしきた津軽北部統括支店を新築オープニングセレモニー開催（10／26）

写真11

J Aつがるにしきたは、中泊町八幡に津軽北部統括支店を移転新築オープンした。オープニングセレモニーには、関係者ら約30人が参加。泉谷利幸代表理事組合長らがテープカットを行った。

泉谷組合長は「各部門の横断的管理と効率性を高めるため職員を一カ所に配置し、組合員や利用者が気軽に会話できるスペースを設置した。新支店を拠点として地域農業の振興と地域活性化に繋がることを期待している」と挨拶した。

### ●直売所利用に感謝 特産物の当選発表

（11／27）写真12

J A青森中央会は、県産農産物が当たる「J A直売所キャンペーン」の抽選会を青森県農協会館で開いた。キャンペーンは、県内16のJ A直売所の認知度・集客促進、消費者



11月

ニーズの把握、県産品のPRなどを目的に9～10月まで行れ、応募者2万3,963件の中からA賞からG賞まで当選者150人を決定した。

### ●青森県農協青年部協議会が地元議員に国会議員要請（12／11・12）

青森県農協青年部協議会の浪岡篤志委員長と役員3人は、青森県農畜産物および労働力に係る要請を、青森県選出の国会議員6人に行った。要請に対して、大島理森衆議院議員は「世界中でコロナの影響を受けており、今が耐えどころである。農林水産省には、皆さんのご意見を伝える」と述べた。

### ●弘前大学、食支援に感謝の訪問（12／11）

弘前大学は、県農協会館を訪れ、J A青森中央会の阿保直延会長に青森県産米「つがるロマン」とリンゴジュース「希望の雫」の学生への食支援に感謝を述べた。弘前大学石川隆洋副学長は「全国でも学生に対し、4トン以上のお米を支援した団体は聞いたことがなく、学生・職員共に大変感謝している。この食支援は学生が青森県に恩返しするきっかけにも繋がるだろう」と述べた。

これに対し阿保会長は「新型コロナウイルスの一刻も早い収束を願うが、経済的に影響を受けている学生には、今後も支援を継続して参りたい」と話した。

12月



## 令和2年産

## 水稻の収穫量が確定

令和2年12月9日公表

～青森県の10a当たり収量は  
平年に比べ31kg増の628kg～

青森県の10a当たりの収穫量は、ふるい目1.70mmでは628kgで平年に比べて31kg増加しました。

また、青森県で多く使われているふるい目1.90mmでは600kgとなりました。これは全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が平年に比べ「多い」となったことに加え、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が、おおむね天候に恵まれ、「平年並み」となったことによります。

この結果、作況指数は105となりました。

なお、地帯別10a当たり収量は上図のとおりです。

主食用の収穫量は24万500tで、前年産に比べ5,300t減少しました。これは、主食用米の作付面積が、前年産に比べて減少したことによります。

なお、全国の主食用の収穫量は722万5,000tで、前年産に比べ3万6,000t減少しました。

## 農家実感の作柄について

作況指数は、県計・作柄表示地帯の平均値と過去30年のデータを基に作成した平年収量との対比により公表しているものです。個々の農家の実感と差が生じることがあります。

具体的には農家の方々が考える平年収量は、直近の結果を基にする場合があります。令和2年産の作況指数は105となりましたが、前5カ年の収量の平均値との比較では103、前5カ年のうち、最高と最低を除いた平均値との比較では104となります。

表 水稻10a当たり平年・平均収量と  
令和2年産水稻10a当たり収量との対比（1.70mm）

| 区分        | 令和2年産<br>平年収量 |     | 農家実感の作柄      |     |                      |     |
|-----------|---------------|-----|--------------|-----|----------------------|-----|
|           |               |     | 過去5年<br>平均収量 |     | 過去5年<br>中庸3年<br>平均収量 |     |
|           | kg            | 対比  | kg           | 対比  | kg                   | 対比  |
| 県計        | 597           | 105 | 608          | 103 | 605                  | 104 |
| 青森        | 583           | 105 | 590          | 104 | 589                  | 104 |
| 津軽        | 618           | 105 | 630          | 103 | 629                  | 104 |
| 南部・<br>下北 | 555           | 105 | 564          | 103 | 568                  | 103 |

このように青森県では平成16年以降、大きな被害が発生せず、作柄が良好に推移していることから平年収量の捉え方の違いが、作況指数の実感の差となっていることが考えられます。

詳しくは

東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/index.html>

# 組織農政通信

## 令和3年産主食用米の生産数量目標について

### 1. コロナ禍の影響等で米の在庫量増加

12月9日に公表された令和2年産米の作況指数は県全体で「105」の「やや良」、収穫量は生産数量目標を約9千2百トン上回り、24万5百トンとなった。全国的には作況指数「99」の「平年並」、収穫量は723万トンとなったが、コロナ禍の影響もあり米の消費量が大きく減少していることから、令和3年6月末民間在庫量は適正水準180万トンを大きく上回り200万トン以上の見通しである。

### 2. 「米穀の需給および価格の安定に関する基本指針」による令和3年産米需給見通し

11月5日、国は今後の需給見通しを踏まえ、令和3年産米の適正生産量を679万トンから693万トンに上方修正した。表1のとおり、令和2年産米の適正生産量と比較すると2.3%~3.3%の減産、また、収穫量からは30万トン、4.2%の減産が必要となる。

〔表1〕 (単位：万t)

| 令和2年産米適正生産量 (目標) A |     | 令和3年産米適正生産量 (目標) B | B / A (%)   |
|--------------------|-----|--------------------|-------------|
| 最大                 | 717 | 693                | 96.7 (▲3.3) |
| 最小                 | 709 |                    | 97.7 (▲2.3) |

| 令和2年産米収穫量 C | B / C (%)   |
|-------------|-------------|
| 723         | 95.8 (▲4.2) |

### 3. 本県の令和3年産米生産数量目標

12月11日、県農業再生協議会は総会を開催し、令和3年産米の生産数量目標を221,334トンに決

定した。青森県「需要に応じた米の生産調整」に関する要領に基づき、JA、県米穀集荷組合関連の集荷業者および地域農業再生協議会から需要に応じた生産計画数量を積み上げ、県全体および地域農業再生協議会ごとの生産数量目標とした。表2のとおり、令和2年産米生産数量目標に対し減少率4.3%、収穫量からは減少率7.9%となる。

また、面積換算値は、12月22日に国が公表した令和2年産米市町村別単収等を基に算出し、県全体の目標を37,103haとした。生産数量目標と面積換算値は12月末までに各地域農業再生協議会に情報提供している。

〔表2〕 (単位：t, ha)

| 令和3年産<br>米生産数量目標① | 令和2年産<br>米生産数量目標② |        | 増減①－②         |
|-------------------|-------------------|--------|---------------|
|                   | 面積換算値             |        |               |
| 221,334           | 231,229           | 39,072 | ▲9,895(▲4.3%) |

| 令和2年産<br>米収穫量③ |        | 増減①－③          |
|----------------|--------|----------------|
| 作付実績           |        |                |
| 240,500        | 38,300 | ▲19,166(▲7.9%) |

### 4. 非主食用米等への転換を進めるために

県は飼料用米および新市場開拓米等に対する助成内容を一部変更し、非主食用米等への転換を進めることとしている。県農業再生協議会は生産者向けのチラシ等を作成し、変更内容を周知する。また、国が水田活用の直接支払交付金の前倒し対策と位置付け、輸出・加工用米や大豆、野菜への転換に10a当たり4万円の交付が措置された「水田リノベーション事業」についても、詳細が分かり次第速やかに情報提供していく。

(中央会 農業対策部)



JA全農あおもり  
米穀部 米穀総合課  
くろたき あつし  
黒滝 京 さん

# 輝き

## ●プロフィール

2018年4月から勤務 つがる市出身 25歳

### — 働くきっかけは？ —

父が農業を営んでいる姿を見て、農家の支えになりたいと感じたからです。

### — 業務内容を教えて下さい。 —

大豆業務、水田活用米穀業務。

### — 働いた感想は？ —

3年目になった今でも業務を通じて勉強不足な部分がたくさんあるので、日々積極的に業務に励んでいきたいです。

### — 仕事をする上で、日頃心がけていることは？ —

「報告・連絡・相談」を常に意識しています。

### — 特技・趣味は？ —

バレーボールです。

### — あなたが自慢できることは？ —

バレーボールです。

### — 将来の夢は？ —

周りから頼られるような存在になりたいです。

## 後編 記集

日本漢字能力検定協会が毎年年末に今年一年の世相を表す漢字一字を全国から募集し、最も応募数の多かった漢字を、京都・清水寺の森清範貫主の揮毫により発表しているが、2020年の第1位が「密」となった。

新型コロナウィルス感染症が日本を含め世界的に流行し、年初から現在に至るまで日々の活動が制約された2020年。大切な人との関係が「密」接になり、人とのつながりの大切さを再認識する機会となった。

ちなみにトップ5は以下のとおり。  
2位（禍）、3位（病）、4位（新）、5位（変）の順。  
どれもなんとなく、想像がつくようなものばかりだ。

「密」を選んだ理由は、①3密という言葉が日常的になり、国民の誰もが意識するようになった②コロナによって「密」は悪になった、というもの。

その中で、おもしろいものに4位の「新」の理由の中に「新しい生活様式、在宅勤務など新しい働き方、新首相誕生、アーモンドアイがG1レース歴代最多9勝目や最年少で二冠となった将棋の藤井聡太など新記録が生まれた」とあった。

2021年は、新型コロナウィルスへの国内での新薬が開発され、世界中が再び笑顔でいっぱいになれるように願っている。（公）



## ホームページアドレス

- JA青森中央会 <http://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/>  
イベントの様子、歳時記、産直・JA情報などをご覧いただけます。
- JAバンク青森 <http://aomori.jabank.org/>  
商品・サービスのご案内のほか、マネーシュミレーションや全国のJAバンクへのリンク等をご覧いただけます。
- JA全農あおもり <http://www.am.zennoh.or.jp/>  
生産量日本一のりんご・にんにく・ごぼうをはじめとした農畜産物情報や活動状況、中古農機情報を紹介しております。
- JA共済連青森 <http://www.jakyosai-aomori.jp/>  
JA共済のご案内のほか、地域貢献活動の取組みを紹介しております。



おうち時間を充実させる

# “家活”のススめ

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」のもと、以前よりも「おうち時間」が増えています。  
JAグループのファミリー・マガジン『家の光』を活用して、より充実したおうち時間を過ごしませんか？

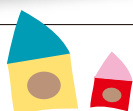


3

楽しみ方  
気持ちリフレッシュに  
趣味の充実を



レッツ  
トライ!



楽しみは  
『家の光』の  
なかにある!

さっそく  
“家活”  
しましう!



2

楽しみ方  
今日の夕飯  
どうする?



レッツ  
トライ!

1

楽しみ方  
運動不足  
解消したい!



レッツ  
トライ!



定価(税込)  
●普通月号 629円  
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円  
●家計簿付き12月号 1,027円

食と農から始まる。JAグループのファミリー・マガジン

前納(前払い)年間購読すると、購読誌代が普通月号1冊分おトク!

年間購読誌代 普通月号定価 前納年間購読誌代  
9,411円 — 629円 = 8,782円

# 「食」と「農」 都市と農村 つなげる紙面

役立つ、得する、  
楽しい情報が満載

●購読のお申し込みは JA へ  
購読料 1カ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS  
**日本農業新聞**  
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動



あらためて気づいた  
食と農、家族のたいせつさ



いそか  
“家活”  
で  
おうち時間を  
楽しもう!

“Ienohikari”  
**家の光**

| 月号                | 定価(税込)  |
|-------------------|---------|
| 普通月号              | 629 円   |
| 付録月号(1・4・5・7・9月号) | 922 円   |
| 付録月号(家計簿付き12月号)   | 1,027 円 |

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL. 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



つがるロマン  
TSUGARU ROMAN



青天の霹靂  
SEITEN NO HEKIREKI



まっしぐら  
MASSHIGURA

青森から3つの「美味しい!!」

青森米本部  
aomori-komehonbu.gr.jp



©やなせたかし

12/16（水）宿泊分よりキャンペーンスタート！  
縄文時代以来、最大のサービス中！

「青森旅キャンペーン」スタート！



青森の観光地を応援！  
～キャンペーン詳細～

対象期間：2020年12月16日（水）宿泊分～  
2021年3月14日（日）宿泊分まで  
※予約数が上限に達し次第終了となります。  
※GoTo トラベルは1月31日（日）宿泊分まで（予定）  
対象商品：Nツアーの宿泊商品【割引対象エリア：青森県全域】  
※12月4日（金）以降の新規予約に限りです。  
割引内容：おひとり様1泊あたり【大人・子ども同条件】（税込）  
宿泊代 10,000円以上（GoTo 割引後6,500円以上）  
割引額 5,500円  
※利用回数に制限はございません（連泊は5泊まで対象）  
対象条件：全国のみなさま  
（GoTo トラベル事業が適用となる旅行者）  
※大人と子どものみ対象です（幼児・乳児は対象外）



「GoToトラベル」と  
「青森旅キャンペーン」の  
ダブルチャンス！  
キャンペーンでお得に泊まろう！！

青森県へ宿泊すると！  
GoTo トラベル旅行代金が  
さらに、おトク！！ おひとり様1泊あたり  
**5,500円の宿泊代金割引**

※ GoTo トラベルキャンペーン一時停止中は利用できません

専用の募集チラシをご用意しております。詳しくは農協観光青森支店まで

旅行企画・実施  
お問い合わせ・  
お申込み



（一社）日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第939号  
株式会社 農協観光 青森支店  
〒030-0847 青森市東大野二丁目1-15  
総合旅行業務取扱管理者：伊藤 亨・田川ますみ  
TEL 017-729-8800  
FAX 017-729-8803

お申込み・  
お問い合わせは

青森県知事登録旅行業者代理業第28号  
JA 十和田おいらせ旅行センター  
☎0176-23-0374  
総合旅行業務取扱管理者／桜田 康子  
青森県知事登録旅行業者代理業第26号  
JA ゆうき青森旅行センター  
☎0175-72-1433  
総合旅行業務取扱管理者／八重樫泰浩

青森県知事登録旅行業者代理業第15号  
JA 津軽みらい旅行センター  
※現在「休業中」です

# 作品紹介



令和2年度 青森県やさい作品コンクール（図画の部）



■最優秀賞 低学年  
「わあい、大きくなった!!」  
青森市立北小学校  
1年 福井 亜季



■最優秀賞 中学年  
「やっとひっこめけたにんにく」  
青森市立浦町小学校 4年 佐藤 碧



■最優秀賞 高学年  
「おもしろい人参見つけたよ」  
三沢市立岡三沢小学校  
5年 大沼 歩叶